

平成 28 年度 第一回グローバル気候変動適応研究推進小委員会 議事録

場所 建設技術研究所 東北支社 会議室

時間 2016 年 9 月 6 日 16:30-18:00

参加者：矢野，中北，宮本，矢島，田中，佐山，山城，小林，多田，赤松，椿，笠間，田村
(順不同，席順，敬称略)

1. 矢野委員長挨拶：小委員会ができるまで経緯について説明。

2. 委員の自己紹介

- 各委員が自己紹介（矢野—小林—中北—田村—宮本—矢島—赤松—佐山—椿—田中—山城）。
- 赤松先生：所属を環境水理（河川）に変更

3. 小委員会の趣旨説明：

- 小委員会の趣旨説明が矢野委員長よりなされた。
- 海岸系，地盤系だけでなく計画系にも入ってもらう。
- 水工学委員会 組織図の修正について：今は委員長直属，4 部会の縦串になるような位置づけに変更。
- 全国大会（@東北大学）研究討論会「気候変動への適応研究推進に向けて」と共通セッションについての説明

4. 小委員会の活動について（活動方針について）

- 土木学会重点課題への応募
来年の 2 月が締切り。去年はコンクリート委員会と「海岸＋土木計画学委員会」が採択。水工＋海岸＋地盤など。あるいは地球環境学委員会にも声をかける。幹事会で原案を作って，委員の皆さんに諮ることとする。活動費は旅費などに使う予定。水工学委員会はしばらく申請していない。
- 今年度の活動予定について
 - ・ 今年中に一度幹事会，また今年中に小委員会をもう一度。
 - ・ シンポジウムを求められている。12 月にできるか？あるいは 3 月？5 月？
 - ・ ワークショップ形式でも良い。
 - ・ 土木の水工という特色をだす。
 - ・ 適応というと社会を向くが，水工学委員会なので基礎研究についても見る。
 - ・ 例えばワークショップでやるのであれば，4 部会が集まっているので，水文部会の気候変動研究のディープな部分に，「いまさら聞けない気候変動」として，

三部会から水文部会に質問をして答えてもらう。

- ・ 創生との共同開催。SI-CAT などもありえる。
- ・ 12 月は難しいかも。3 月、4 月か 5 月にでも、とにかく一度開催したい。原案を作って、小委員会に図る。
- ・ アゲール（神田先生）との関係についても考える。
- ・ 水工が 3 月に九大である。第 3 回を開催してもいい。
- ・ 基本的には 3 年間はこのメンバーで活動して欲しい。

■ アウトプットについて

- ・ 報告書的なアウトプットもありえる。
- ・ 影響評価・適応に関するレビュー論文の執筆。
- ・ 水環境については、例えば環境水理＋メンバー
- ・ 災害については？
- ・ 水資源については？
- ・ 水関連の適応策に関する書籍の発刊
- ・ 一般向けの適応関連の書籍はまだ少ない。
- ・ 最近、沖先生が岩波新書で書いている。
- ・ メンバーからの意見を収集したい。
- ・ 来年度から再来年度までに出版できればいいのではないか。
- ・ レビューの中から、この研究がまだされていないなど、穴を発掘して欲しい。
- ・ 単にレビューするだけでなく、方向性を議論するべきである。

5. その他

- 中北水工学委員長から「気候変動への適応研究推進に向けて」ppt を使った話題提供